

北海道マラソンに挑戦 チャレンジスポーツINにかつぷ開催

8月31日、札幌市で行なわれた北海道マラソン。この北海道マラソンと同時に開催でチャレンジスポーツINにかつぷが町民グラウンドで行なわれました。

これは、一人100歳のリレー方式で北海道マラソン出場選手と競い合うというもの。新冠町体育協会創立50周年記念事業として企画されたこのチャレンジスポーツに小学1年生から大人まで約150名の町民の皆さんが参加しました。



参加者の皆さんが走った距離は100mトラック422周と42・195^キをリレーで完走しました。北海道マラソンと同時にスタートしたこのリレーのタイムは2時間10分13秒。北海道マラソンの男子1位の高見沢選手より約2分早くゴールし、会場からは大きな歓声があがりました。

第5回新冠ライオンズクラブ杯

サブレットロードサッカーフェスティバル開催

8月24日、レ・コードパークでサブレットロードサッカーフェスティバルが開催され、日高管内から8チーム、約300名の子供たちが参加し、熱戦を繰り広げました。

大会は、2年生以下の部、3年生以下の部、選抜の部（6年生以下）の3つのクラスで行なわれ、どの試合も手に汗握る好ゲームとなりました。



また、会場には多くの父兄の方も応援に駆け付け、子供たちのプレーに大きな声援を送っていました。

新冠町体育協会創立50周年記念 第30回少年野球新冠大会開催

今年で30回目を迎える少年野球新冠大会が8月5日、新冠町民グラウンドと新冠中学校を会場として行われ、日高管内から10チームが出場しました。大会は、雲ひとつない快晴の下、新冠野球スポーツ少年団の丸谷龍平主将の力強い選手宣誓で幕を開けました。

子供たちも日頃の練習の成果を発揮し、どの試合も熱戦が繰り広げられました。新冠野球スポーツ少年団は1回戦、日高野球スポーツ少年団と対戦し、接戦の末勝ち上がり、準決勝で鶴川ジュニアファイターズと対戦しました。残念ながら、準決



勝で敗れましたが、子供たちの一生懸命なプレーに、父兄の方からも熱い声援が送られていました。また、会場には、新冠野球スポーツ少年団の創設者である故白取勝宣さんの写真も飾られ、子供たちが一生懸命プレーする姿を見守っていました。

題

あれこれ

ふるさとで踊る にいかつぷふるさと盆おどり

8月16日、新冠町役場駐車場で「にいかつぷふるさと盆おどり」The あそ盆2008」（新冠町青年団体連絡会主催）が行なわれ、お盆を新冠で過ごす家族連れなど約450人が会場に足を運び、盆踊りを踊りながら、楽しいひと時を過ごしました。

また、会場では、動物のふれあいコーナーや露店、ビアガーデンなど子供から大人まで楽しめる企画で盆踊りを盛り上げたほか、餅まきならぬお菓子まきも行なわれ、参加した子供たちも大歓声を上げていました。



ふるさと盆おどりの開催は今年で6回目。きっかけは、昭和27年に発売された「子供盆おどり唄」の初版レ・コードがレ・コード館に保存されていることがわかり、この音源を元に、町内の青年たちが盆踊りを復活させようと、立ち上がったことでした。毎年、青年たちが知恵を出し合い、様々な企画で参加者を楽しませてくれています。

ま ち の 話

災害と向き合うために

「救急の日」記念講演会開催

9月3日、レ・コード館で「救急の日」記念講演会が開催されました。講師は、札幌医科大学の浅井康文教授。浅井先生は、国際緊急援助隊の医師としても活躍され、国内外の災害現場でも医療活動を行なっているらしいです。



講演では、その災害現場での医療活動の経験談や災害に向き合うためには平時に備えが必要であるというところを映像を交えながら話してくださいました。参加者も貴重な講演に熱心に耳を傾けていました。

はじめまして。私の名前は

ジェームソン・パーカー・カービーです

平成18年に来日し、2年間の任期を終え帰国したコルピッツ・ブラッドレーさんに代わり、新しい英語指導助手としてジェームソン・パーカー・カービーさんが着任しました。

パーカーさんは、アメリカ合衆国アトランタ出身の25才。身長189cmの長身を生かし、バスケットボールが得意で、テニス、ゴルフ、サッカーなどのスポーツをするのが趣味だそうです。

新冠町の第一印象は、まちがとてもきれいなこと。また、会う人がみんな優しいことも印象的だったそうです。



新冠町では、2年間の任期で新冠中学校の英語助手を行います。新冠中学校の生徒の印象を聞くと、「みんな元気で楽しい。友達になれることを楽しみにしています。」と語ってくれました。

また、パーカーさんは大阪で1年間、語学留学していた経験もあるため、日本語も少しわかるそうです。まちで見かけたときは気軽に声を掛けてあげてください。